

2022年12月21日

お客様各位

日本農薬株式会社

農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記

使用制限 2022年12月21日付（1件）

(1) 日農ロブドー水和剤

登録第 21113 号

 ①作物名の削除:りんご、みかん

②使用液量の設定:なし/200~700ℓ/10a、レタス/100~300ℓ/10a

 芝(ベントグラス)、芝(ハーミーダグラス)、芝(日本芝)/1ℓ/m²

 ③使用方法の変更:芝(ベントグラス)、芝(ハーミーダグラス)、芝(日本芝)/1 m²当り 1ℓ散布⇒散布

 ※使用制限に該当する内容を下線・赤字で示しています。

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イプロジオンを 含む農薬の 総使用回数	有機銅を 含む農薬の 総使用回数
なし	黒斑病 黒星病	600~ 800 倍	200~ 700ℓ /10a	収穫 14 日前 まで	5 回以内	散布	5 回以内	12 回以内 (塗布は 3 回以内、 散布は 9 回以内)
レタス	菌核病 斑点細菌病 腐敗病 軟腐病	500 倍	100~ 300ℓ /10a	収穫 21 日前 まで	3 回以内		4 回以内 (種子粉衣は 1 回以内、 は種後は 3 回以内)	5 回以内
芝 (ベントグラス)	雪腐小粒菌核病 葉腐病(ブラウンパッチ)	300 倍	1ℓ/m ²	根雪前	5 回以内		8 回以内	
芝 (ハーミーダグラス) 芝 (日本芝)	ヘルミントスポリウム葉枯病	500 倍		発病 初期				

【削除する注意事項】

- ・ りんごに使用する場合、サビ果の発生を多くする場合がありますので、落花直後から落花 20 日後頃まで使用をさけること。また、樹勢の弱い場合には連用散布すると生理落葉を助長する事例もあるので、連用はさけることが望ましい。特にゴールデン及びびゴールデンからの育成品種には注意すること。
- ・ りんごに使用する場合、旭種には薬害を生じるおそれがあるので使用はさけること。

【変更する注意事項】

- ・ 本剤の所定量に少量の水を加えて糊状にねり、のち所要量の水を加え、十分かきまぜて散布液を調製すること。

以上